

CADPACCREATOR 2D Ver.16.0

新機能リスト

■汎用機能

1. 64bit 対応.....	2
2. IMGPrinter2 フォルダとビューアを開く.....	2
3. 単位のシステム設定.....	3
4. レイヤーハイライトの端交点検出.....	3
5. マウスホイールでズーム.....	3
6. FDD, FDE ファイルのネットワーク保存.....	4
7. ラスター付き DXF/DWG 出力.....	4
8. ラスター付き Jw_cad 出力.....	4
9. バルーン 16 進連番.....	4
10. ファイン表示の SXF 表示モード.....	5
11. 文字置換.....	5
12. 文字列編集.....	5
13. 線分 ポリライン.....	5

■機械オプション

1. エッジ記号.....	6
2. 皿ボルト.....	6
3. 2010 注釈 / 複写移動の補正.....	6

■その他のオプション

1. JIS 機械パーツ Ver.16.0 用の部品ライブラリ.....	7
2. CADPAC-View アンドロイド OS に対応.....	7

Ver.16.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.16.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.15.5 からの差分です)
[***/***/**] は、該当のオンラインヘルプとなります。

汎用機能

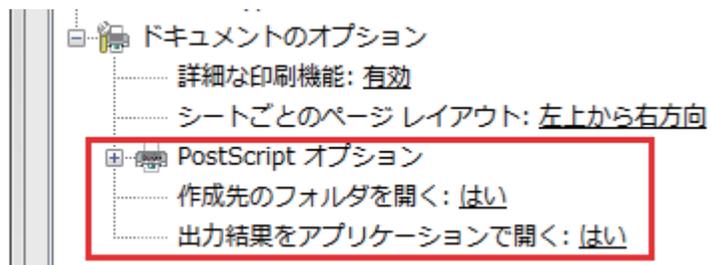
1. 64bit 対応

プログラムを 64bit ネイティブ対応しました。
これにより OS が 64 ビットであれば、PC に搭載されたメモリをフルに利用できるようになります。
対応 OS は、vista を除く Windows 7 以降の 64 ビット OS です。
64 ビットプログラムは、本システムをインストールする際に、指定可能です。[インストールガイドに詳細]



2. IMGPrinter2

PDF や TIFF の出力後に、保存先フォルダを開き、Windows で規定のビューアを起動する設定を追加しました。
設定は、出図 - IMGPrinter2 からプロパティでダイアログボックスを開き、詳細設定から行います。
[IMGPrinter - PDF/TIFF/XCDF 出力]



3. 単位のシステム設定

座標ツールバーにある単位（距離、角度、桁数）の設定を、システム設定の補助 / システム設定 / 全般で、起動時に指定できるように変更しました。座標ツールバーにある単位を変更しても、次回起動時には反映されなくなりました。

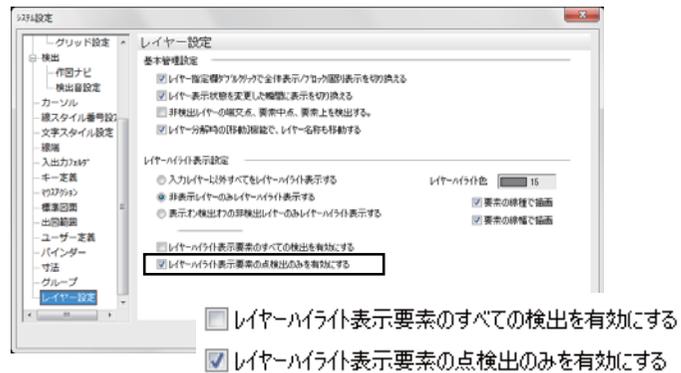
[補助 / システム設定 / 全般]



4. レイヤーハイライトの端点検出

非表示レイヤーをレイヤーハイライト表示にした時、端点のみ検出できるようにするモードを設定に追加しました。

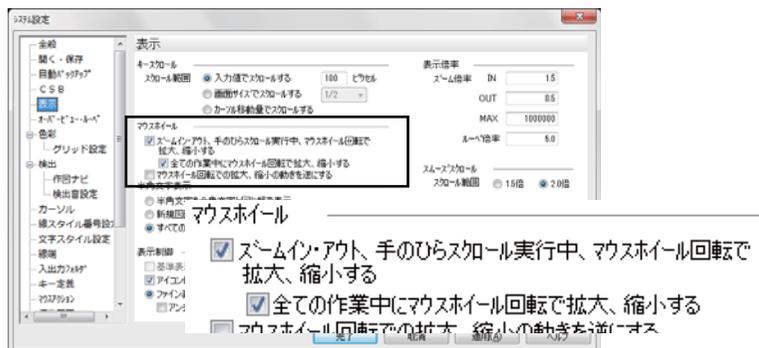
[補助 / システム設定 / レイヤー設定]



5. マウスホイールでズームインアウト

マウスホイールの機能で、現在の上下スクロールを常時ズームインアウトに変更する機能を設定に追加しました。

[補助 / システム設定 / 表示]



6. FDD, FDE のネットワークドライブ保存

FDD, FDE 形式で保存する際、ネットワークドライブへ高速保存できるようになりました。

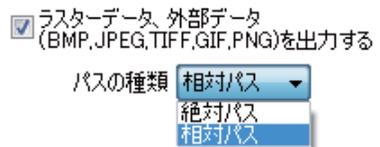
[ファイル / 新規 (名変) 保存、上書保存]

7. ラスター付き DXF/DWG 出力

カラーラスター (ライト) オプションのラスターデータを DXF/DWG 出力できるようにしました。

図面に埋め込まれたラスターは、すべて別ファイルで添付されます。絶対パスか相対パスかを指定できます。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



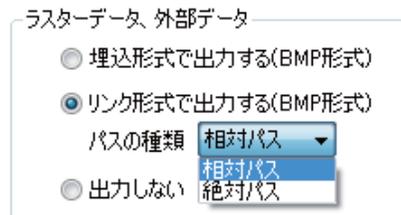
8. ラスター付き Jw_cad 出力

カラーラスター (ライト) オプションでラスターが貼り付けられた図面を Jw_cad 出力できるようにしました。

ラスターは、すべて BMP 形式となります。

絶対パスか相対パスかを指定できます。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / Jw_cad 出力]

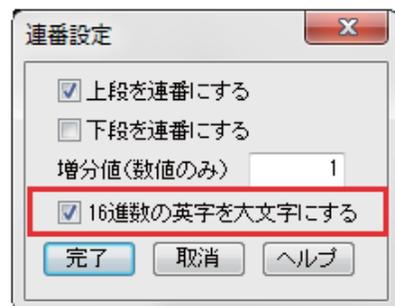


9. バルーン 16 進連番

[16 進] オン、[連番] オンで、a 以降のアルファベット文字を小文字か大文字か選択できるようにしました。

CSB ボタンの [5. 連番] をマウス右クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。

[作図 / 文字記入 / バルーン]



10. ファイン表示

SXF 詳細表示モードの時、ファイン表示に対応しました。

SXF 詳細表示モードは、電子納品する（された）SXF ファイルをリアルに表示するモードです。表示速度は他の表示に比べ劣ります。

[補助 / システム設定 / 全般]



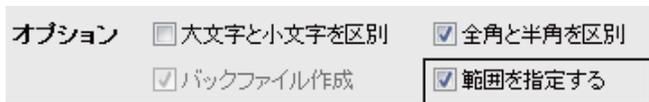
11. 文字置換

文字置換の置換側に NULL を設定できるようになりました。

置換に NULL を指定すると、文字列は要素としてなくなります。

また図面内の一部分を枠で囲って選択できるようになりました。

[作図 / 文字編集 / 文字置換]



12. 文字列編集

文字列置換の置換側に NULL を設定できるようになりました。

置換に NULL を指定すると、文字列は要素としてなくなります。

[作図 / 文字編集 / 文字列編集]

13. 線分 ポリライン

CSB ボタン「グループ」の名称を「ポリライン」の名称に変更しました。機能の変更はありません。

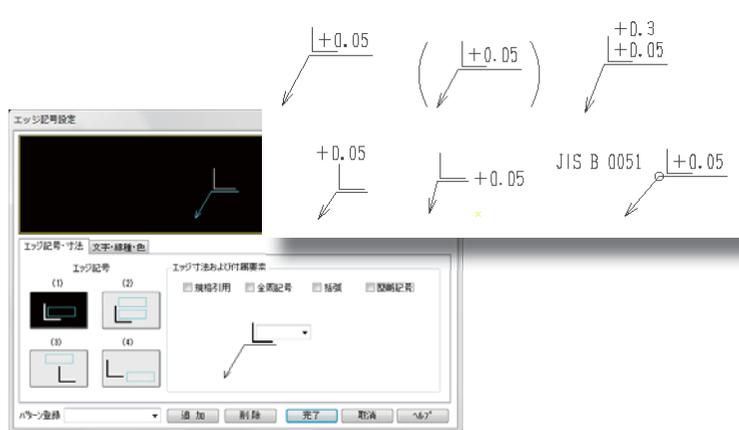
[作図 / 直線 / 線分]



機械オプション

1. エッジ記号

JIS B 0051 規格の「エッジ記号」を作図する機能を追加しました。エッジ記号とは、機械加工による部品のかどおよび、隅に形成されるエッジの状態を、記号 [+] [-] [±] で表示し、「ばり」「アンダーカット」「バッシング」を図記号の形状および、寸法で指示することができます。
[専用 / 機械記号 / エッジ記号]

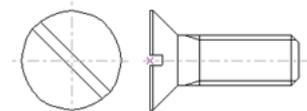


2. 皿ボルト

JIS B 1179 規格の「皿ボルト (M10 ~ M36)」を作図する機能を追加しました。「すりわり付き皿ボルト」「キー付き皿ボルト」の側面図または、上面図を作図します。作図される皿ボルトは、呼び径や呼び長さ等を指定し、各種形状指定ができます。

皿ボルトは、部品台帳にも追加されています。

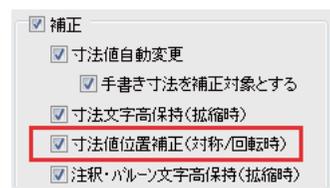
[専用 / 機械定型 1 / 皿ボルト]



3. 2010 注釈 複写移動の補正

2010 注釈で作図された要素の複写 / 移動コマンドで、補正機能に対応しました。

[専用 / 機械定型 3 / 2010 注釈]



その他のオプション

JIS 機械パーツ

Ver.16.0 用の最新部品ライブラリに変更されました。
部品点数は 57 万点です。
保守期間中は PC に部品データをインストールせずに、オンラインでも
ご利用いただけます。
[専用 /JIS 機械パーツ]

CADPAC-View

CADPAC-View が Android OS に対応しました。
Android 端末（スマートフォンやタブレット）から、CADPAC で作図し
たデータを閲覧したり計測することができます。
本バージョン（Ver.16.0）以降で保存された図面データであれば、
CADPAC-View で直接閲覧することができます。

- * Ver.15.5 以前のデータは読めません。
- * 端末が ios の場合、idc ファイルへの変換が必要です。

Android 版 CADPAC-View は、google play から無償でダウンロード
可能です。

- * 動作検証機種は WEB にて公開
www.dcrea.co.jp/product/cadpacview/

